

児童虐待は私たち一人ひとりの問題です。
私たちに何ができるか考えてみませんか？



～児童虐待を防ぐ 県民一人ひとりにできること～



Yuuri no kai

ご挨拶

医療法人社団 愛育会

福田病院 福田 稠 理事長



児童虐待の報道を目にするたびに、子どもを助けることはできなかったのか、私たちに何かできることはないのかと考えてしまいます。

児童虐待防止法が改正され、親の体罰禁止や児童相談所の体制強化が盛りこまれたことは、悲惨な事件を防ぎしつけの在り方を見直すきっかけになりました。

しかし、専門機関だけに児童虐待防止の対応を任せておくのではなく、私たち一人ひとりができることを考え、実行することが、虐待の未然防止、早期発見に繋がります。虐待が起きない社会を作るためには、地域の中で、みんなが子どもの成長を見守り、孤立した家族や母子を作らないことが大切です。

福田病院でも、熊本県から委託を受けて産前産後母子支援事業を行っています。

また、様々な事情でどうしても実親が育てることができない子どもを特別養子縁組で新しい家庭で生活できるようにする、特別養子あっせん事業許可を熊本県で最初に提出し、こどもを守る活動を続けています。

今回、優里の会が「児童虐待は私たち一人ひとりの問題です。私たちに何ができるか考えてみませんか？」の冊子を作成されたことは、大きな意義があることだと思います。

この冊子を活用し、多くの県民の方々が、虐待のない社会で子どもたちが健やかに育つために、自分たちができることを考える機会になることを祈念します。

● 児童虐待の現状 ●

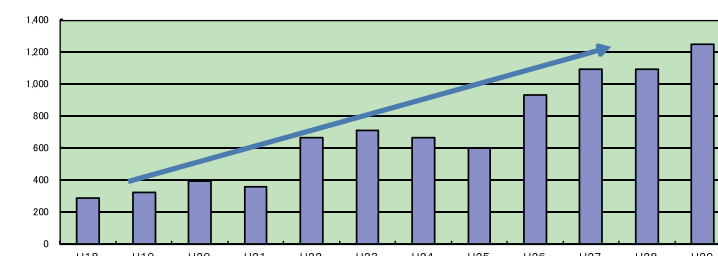
児童虐待の相談件数は、毎年毎年増加しています。新聞等で、悲惨な状況の報道があり心を痛めています。

たとえ最悪の状況までは至らなくても、虐待状況の中で成長していく子どもたちは、心身の成長に大きな影響を受けています。

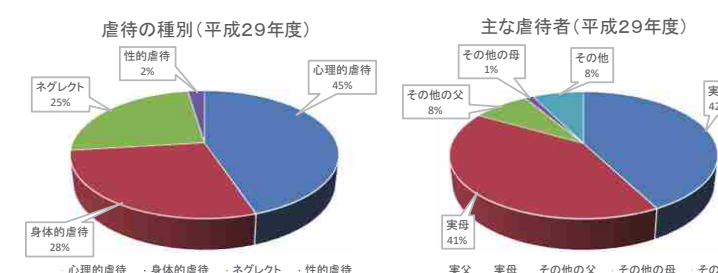
また、家族と暮らせなくなる子どもたちもいます。その子どもたちが大人になったとき、どのような家庭を作っていくのでしょうか。私たち大人の責任は大きいと感じています。

また、虐待問題は子どもを救うだけでなく、虐待を行った大人への支援も考えていく必要があります。

虐待相談件数棒グラフ



虐待種別円グラフ



● 虐待防止に向けた様々な関係機関の取り組み ●

皆さんの地域には、親子や子育てを支援し児童虐待の防止に取り組むさまざまな関係機関があります。



女性健康支援センター

全国に73カ所(H30.7.1現在)の相談窓口があります。

全国ネットワーク「あんしん母と子の産婦人科連絡協議会」

妊娠葛藤の相談から特別養子縁組(※P5を参照)を踏まえた母子の支援を行っています。

その他子育てに関する関係機関

各市町村の保護センター、警察、福祉事務所、小児科や産婦人科などの医療機関、幼稚園や保育園内にある子育て支援センターなどがあります。

それぞれの関係機関では、相談者の秘密を守りながら多くの機関や職種の方と連携協力して相談者を支援します。ですから、悩んだら勇気を出してまずは相談してください。

産科・婦人科・生殖内分泌外来・小児科・小児外科・新生児内科・
麻酔科(高木美砂子、岩政浩子)・乳腺外科・肛門外科



地域周産期母子医療センター

福田病院

<http://www.fukuda-hp.or.jp>



〒860-0004 熊本市中央区新町2-2-6 TEL:096-322-2995 FAX:096-355-3775



Kiwanis Young Children Priority One

熊本キワニスクラブ

～キワニスとは～ 国際社会奉仕団体です。

【熊本キワニスクラブの幼児最優先活動】



～モットー～ 世界の子供たちに奉仕する

- ・子ども虐待防止オレンジボン運動の推奨
- ・幼児のお友達「キワニスドル」作成と贈呈
- ・熊本キワニスちびっ子大使認定式

【熊本キワニスクラブ事務局】〒860-8552 熊本市中央区紺屋町1-2-2 くまもと経済内Tel096-359-7777

有識者からのメッセージ

園部 博範

元 熊本県中央児童相談所 心理判定課 班長
現在 崇城大学准教授



「虐待をおこさないために」

虐待を受けた子どもは、心に傷を受け、さらに親との愛着関係が築けなくなります。その結果、将来精神的に不安定になったり、自分の子どもに虐待を繰り返したしするようになります。従って、早期に虐待する環境から離すか、虐待を止めさせ、適切な環境で育てることが必要になります。

児童虐待の原因としては、親の育児環境など多くの要因がからみあって起こるとわれています。その要因の中で特に問題になるのが親族や地域からの孤立です。DVなどの暴力を防ぐために、閉鎖された環境を作らないように、子育て中の親御さんには声をかけるようにしましょう。

三 洵 浩

熊本大学病院新生児学寄附講座特任教授
虐待対応委員、CPT リーダー



「医療現場から見た虐待への対応」

虐待を受けた子どもは、少なからず医療機関を受診します。医療機関は、一般の病児の中から、虐待を早期発見し、警察・児童相談所、あるいは市区町村へ連絡・連携し、支援につなげることが使命です。さらに、養育が困難と思われる特定妊婦（※）に対しては、市区町村と連携しながら、安全なお産に導き、母子関係を確立させ、養育のための環境調整や福祉的支援につなげることが重要です。

しかし、これらは簡単なことではなく、組織として対応する必要があります。熊本大学病院では、虐待対応委員会やCPT（Child Protection Team）が組織され、虐待対応マニュアルも作成されています。さらには、地域での見守りなどの支援も重要ですので、ご協力をお願いします。

※児童福祉法で、経済的な問題やパートナーとの問題、病気などで、妊娠中や出産後に周囲のサポートを受けることが必要と認められる妊婦のこと。

下園 和子

熊本母と子の相談室代表。助産師・保健師。
元慈恵病院病棟棟長として“こうのとりのゆりかご”
預け入れ者と面談、電話相談担当。
あんしん母と子の産婦人科連絡協議会顧問。
熊本市の複数病院で妊娠相談と特別養子縁組にかかわる。



「小さな命を一緒に守りましょう」

思いがけない妊娠で悩んでいませんか？産む、産まない、産んでも育てられるか…。出産費用のことを考えて病院も受診していない、母子手帳ももらっていない。医師や助産師の立ち合いがない自宅出産し、かいないと考えていませんか？

第13次報告（※）によると、心中以外の虐待死の中で0日・0か月児事例の発生数は0歳児死亡例の43.3%を占めています。実母の妊娠期・周産期に抱えていた問題には、予期しない妊娠・計画していない妊娠が34.6%を占めています。虐待死の加害者は実母が50%、次いで実父で23.1%であったと報告されています。

妊婦検診を受けないことなどは、胎児ネグレクトともいいます。思いがけない妊娠に悩んでいても、辛い気持ちを押し殺さないで助けを求めることが虐待を防ぐことになります。早期から支援を受けることは、将来の社会を支え変える力のある命を守ることになります。子どもは社会の宝です！みんなで一緒に守りましょう。

※社会保障審議会児童部会児童虐待等要保護事例の検討に関する専門委員会（平成29年8月）子ども虐待による死亡事例等の検証結果等について（第13次報告）

黒田 信子

元熊本県中央児童相談所 児童相談課長
現在 熊本県社会福祉士会理事
熊本県スクールソーシャルワーカー



「子どもの気持ちを受け止めて」

家族や子どもから相談を受けていると、親が自分のストレスを家族に向けたり、自分の価値観を過度に押し付けたりしていることもあります。

でも子どもは家族が大好きで、家族を愛し家族から愛されたいと願っています。虐待を受けても自分が悪かったからと親をかばう子どももいます。子どもは家族の生活や価値観等によって、大きな影響を受け、虐待が起こると、大好きな家族と一緒に暮らせなくなる子どももいます。子どもが安心して安全なところで生活するために、しばらく家族から離れることが必要な場合もあります。

子どもの親に対する気持ちを大切にして、心身が安定する場所を提供することがまわりの大人の務めではないでしょうか。

村田 晃一

有妻総合法律事務所 弁護士



「これからの子どものしつけ」

2019年、児童福祉法の改正により、親の子どもに対する体罰が明確に禁止されました。そのため、民法が定める「懲戒権（※）」は、体罰を認める根拠にはできません。体罰は暴力であり、虐待です。しつけ名目の体罰は許されません。

しかし、子どものしつけは親の義務でもあります。子どもの過ちを正し、教える導かなければなりません。そのため、親には体罰によらないしつけが求められています。もし、子どもに一切手が出せないのは、やりづらい、と感じるのなら、「しつけには多少の体罰は効果的」という間違った考えがあることを反省する必要があります。それは、理由のある暴力は許されると安易に考える子どもに育てないために必要なのです。

※懲戒権：親が、監護・教育のための手段として、子どもに対してこらしめを行う権利のこと。

RKK
熊本放送

自分発見×未来邂逅

平成29年、学校法人として新たな一歩を踏み出した「くまもと清陵高等学校」。株式会社立の高校としての開校以来、生徒たちの高卒資格取得に向けたサポートと職業観の育成に力を入れ取り組んできました。高校時代からこそ経験できることを大切に、生徒たちに自分から「やりたい」と思うことを見つけてほしい。15年目を迎える今も、この開校時の精神はそのままに、「学力」と「こころ」の両面からケアをしながら、自分の足でしっかりと歩んでいける自立した人づくりに取り組んでいます。

学校法人 熊セミ学園 単位制・広域通信制
くまもと 清陵高等学校

阿蘇本校 熊本学習センター
阿蘇郡南阿蘇村河原 宇小野 5-300 1丁目8-12
TEL 0967-63-8251 TEL 096-213-7811

鉄道 貸切バス 路線バス

お客様の安全輸送が第一の使命

熊本電気鉄道株式会社 〒860-0862 熊本市中央区黒船1丁目 電話 096-343-2526 <http://www.kumamoto-etsuden.co.jp/>

共に支え共に生きる

社会福祉法人やまなみ会

〒869-2225 熊本県阿蘇市黒川431 TEL 0967-35-5311

里親制度とは？

～すべての子どもに温かい家庭を～

「里親制度」

虐待をはじめさまざまな理由で家族と暮らせない子どもたちを、自分の家庭に迎え入れ温かい愛情と正しい理解をもって養育する制度です。

つまり、虐待を受けた子どもたちにとって里親家庭はセーフティネットのひとつです。

「家庭養育優先原則」

国は里親を増やし、里親家庭で暮らす子どもを増やすことを優先することを法律で示しました。（改正児童福祉法）

里親の種類

養育里親

自分の家庭に迎え入れて家族の一員として育てる里親です。期間は子どもの事情によって様々です。

特別養子縁組里親

原則6才未満の子どもと特別養子縁組（戸籍上も自分の子どもとすること）を前提として育てる里親です。

その他に **専門里親** **親族里親** があります。



ところが、里親家庭で暮らす子どもたちの現状は・・・？

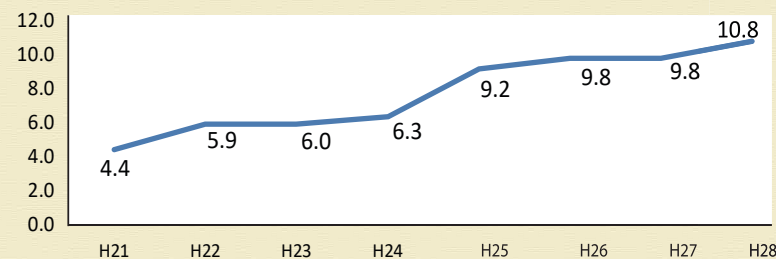
①都道府県別の里親委託率

熊本県の里親等委託率（※）は、平成28年度福祉行政報告例によると10.8%で、これは全69の自治体の中でワースト5位の結果です。

最大：51.1%（新潟市） 最小：8.3%（堺市）

※里親委託率：さまざまな理由から家庭で暮らせない子どもたちの中で里親家庭で暮らす子どもたちの割合のこと。

②熊本県の里親委託の状況



まだまだ里親家庭で暮らす子どもたちは少ない現状にあります。

特定非営利活動法人 優里の会

優里の会は、さまざまな理由により家庭で暮らせなくなった、社会的養護を必要とする子どもたちが家庭・地域社会で生まれ、自立した社会の一員となれるよう支援しています。次世代の育成のために自主事業のほか、熊本県・熊本市より委託を受けて、次のような事業を行っています。

ニュースは私たちがお伝えします

実況もやります

月・木

清家康広

Yasuhiro Seike

毎週 月～金
夕方4時50分～

kkt!

子どもの問題担当

金

畑中香保里

Kahori Hatanaka

里親制度の普及啓発

- ・定期講演会
- ・里親フォーラム
- ・パネル展
- ・子育て座談会
- ・出前講座
- ・御船町町長との対談

矢印広報みふね第610号に掲載



里親家庭への支援

- ・里親登録前研修
- ・里親更新研修
- ・スキルアップ研究会
- ・里親・里子サロン
- ・フォスタリング・チェンジ・プログラム
- ・里コール（電話相談）



里親さんの声

「年を重ねるごとに深まる絆」

～養育里親 S さんの場合～ 家族構成：夫、本人、実子2人、委託児童1人

●里親になろうと思ったきっかけ

私は、もともと友人が仕事で帰りが遅くなったりするとき、友人の子どもを自宅で預かった経験がありました。日を重ねるごとに、もっと子育てがしたいという気持ちが大きくなっていきました。そんなとき、市政だよりで里親募集の記事を見つけ、里親としてさまざまな子どもと出会い、子育てをするのも良いのではないかと思い児童相談所へ連絡しました。

●嬉しかったことや苦勞したこと

登録して約1年した頃、児童相談所から委託のお話がありました。「2才の女の子さきちゃん（仮名）です」と言われました。我が家は実子が男の子2人だったので女の子ということで少し戸惑いもありましたが、息子たちにもすぐに慣れてくれてとても良い子でした。ところが、正式な委託が始まってから何日も経たないうちにさきちゃんも不安が大きくなったのか昼間はわがママを言ったりぐずったり…夜は毎晩の夜泣きが始まり心身共に疲れました。息子たちもお母さんを取られた気持ちになり、不安定になっていました。

実子も委託を受けたさきちゃんもどちらも大切に思っていましたので、どうしたらいいか悩んでしまい、児童相談所の方に相談しました。すると「実子さんも辛いときだと思いますので気持ちを受け止めてあげてくださいね。園田さんご夫婦や実子さん達の生活を中心に考えてもらって、その中にさきちゃんを入れてあげるような形でいいんですよ。」と言われ、それまで私は私自身さきちゃんを『特別な子』と考えていたことに気付き、気持ちが楽になりました。

それから大変なことはありましたが、それ以上にさきちゃんが来てくれた喜びの方が大きく、日を重ねる度に親子の絆が深まっていき、今ではさきちゃんは私たち家族にとってかけがえのない存在になっています。

●皆さんへのメッセージ

里親、里子という関係や生活は理想通りにはいきません。大変なことがたくさんあると思います。でも、日々の生活を家族として過ごすことで解決することもたくさんあります。里親の子育ては、里親だけがするのではなく支援者と一緒にするチーム養育です。困難にあったときは、周りにいる支援者に相談することが解決の近道だと思います。まずは最初の一步を踏み出しましょう。



Sさんの里子のさきちゃんか書いた「詩」です。「かぞくのかたちは いろいろなかたち。わたしのかぞくは ハートのかたち。」

自分らしく、自然と共に笑顔の生活。

指定障害福祉サービス事業所
社会福祉法人 **誠心会みずき園**

〒868-0204 熊本県球磨郡あさぎり町上西 688 番地
TEL 0966-43-1688（お問い合わせ受付 08：30～17：30）

Kiwanis

熊本キワニス
サテライトレディーズ

熊本キワニスサテライトレディーズは、キワニスが掲げる幼児最優先活動の一環で、闘病中の子どもらへ贈呈する「キワニスドール」作り活動などを行う団体です。

酒のアカツキ

何でも相談できるお酒屋さん

〒861-8081 熊本市北区麻生田 4-2-50

つかえるろうきん みんなのろうきん

九州ろうきん

<http://kyusyu.rokin.or.jp/>

九州ろうきん 検索

Kumamoto BMW

熊本第一信用金庫

子どもの虐待防止宣言

私たち熊本県民は、児童虐待を防止するために次のことを宣言します。

一、子どもの虐待は、私たち一人ひとりの問題です。

私たちに何ができるか考えます。

一、子どもは社会の宝です。困っている親子にはいつでも気軽に声をかけます。

一、虐待ではないかと思ったら、迷わず「189(いちはやく)」(※)に電話します。

一、しつけのために暴力を使わず、日頃から会話することを心がけます。

一、子育てに疲れた時は、無理せずに助けを求めます。

※「189(いちはやく)」：児童虐待の通告や子育ての悩み相談ができる児童相談所全国共通ダイヤルです。まずオペレーターにつながり、そこから最寄りの児童相談所につながる仕組みになっています。



ANA CROWNE PLAZA
HOTELS & RESORTS
ANAクラウンプラザホテル熊本ニュースカイ
AN IHG® HOTEL



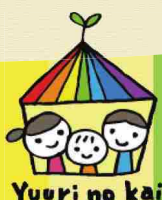
ニキハーティホスピタル
NIKI HEARTY HOSPITAL

PTSD・うつなど多岐にわたる心の問題に専門的治療を提供します。
【併設事業所】 訪問看護ステーションクレイン／相談支援事業所アウル
〒862-0920 熊本市東区月出4丁目6-100 ☎ 096-384-3111 Fax 096-383-7710

個人での協賛者氏名

五十嵐幸子様、犬童富士子様、上野和美様、江島豊之様、甲斐美由紀様、北之園健憲様、倉橋泰加様、古閑恵子様、小澄康彦様、境久美子様、坂井木綿子様、佐久間ゆうみ様、佐藤克之様、島田光子様、新道欣也様、高橋徳昭様、田淵真由美様、中尾桂子様、永蔭洋三郎様、中村ふみ様、西川静子様、橋本眞奈美様、福岡敏様、村野圭織様、山口初子様、吉田智子様、渡邊忠雄様 他6名

この冊子は特別養子縁組の当事者である永岩味樹さんに作成を協力していただきました。



ゆうり
特定非営利活動法人 **優里の会**
TEL:070-5485-8365 FAX:096-202-4274
✉ yuurinokai@yahoo.co.jp

優里の会

検索



<https://yuurinokai.com>

facebook、instagram もやってます！

優里の会は、熊本県・熊本市より共働事業の委託を受けて、里親制度の普及啓発と支援を行っている団体です。